

社会資本整備総合交付金

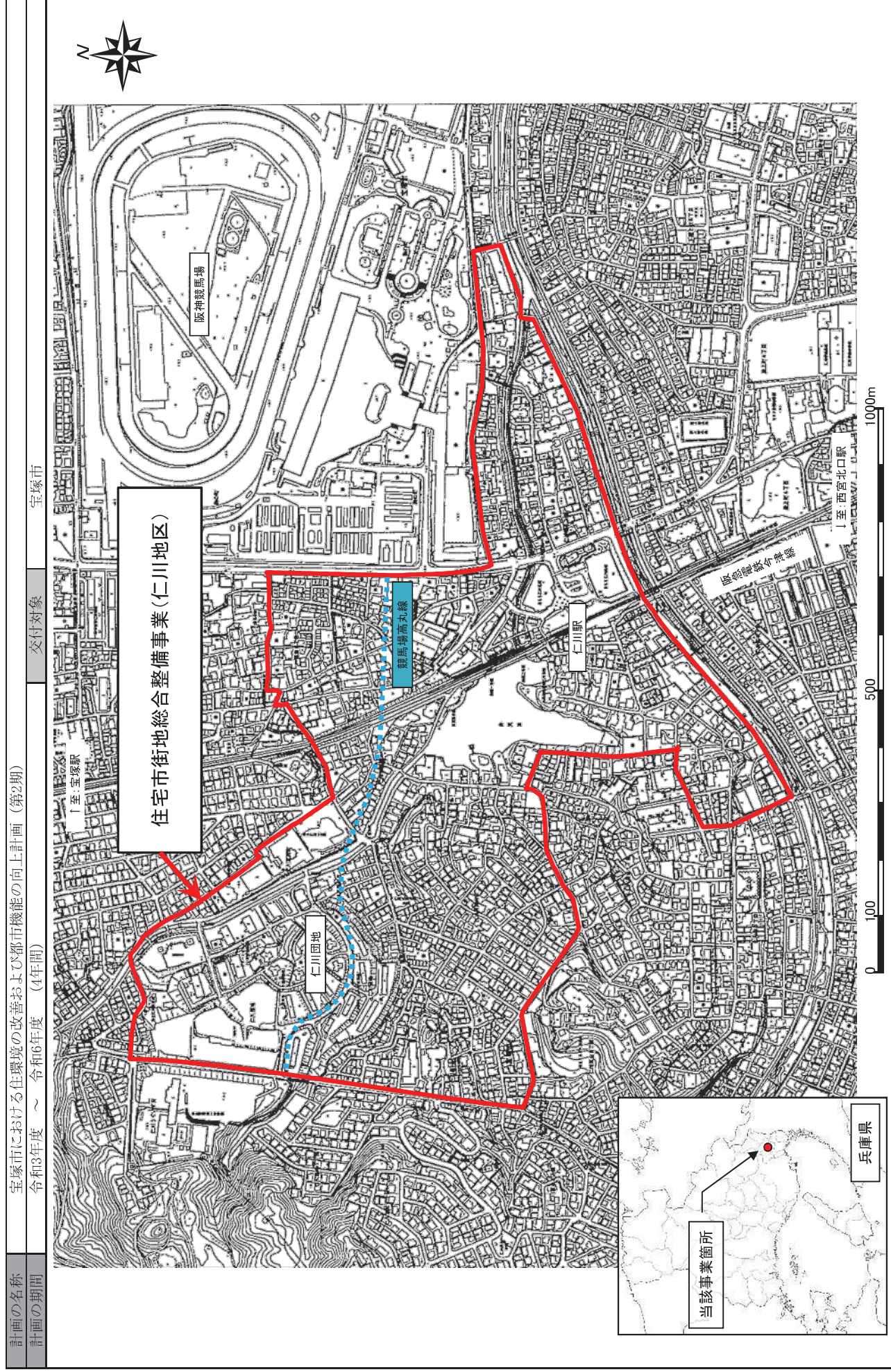
社会資本整備総合計画
社会資本整備総合交付金
令和07年01月08日

計画の名称	宝塚市における住環境の改善および都市機能の向上計画（第3期）														
計画の期間	令和07年度	～	令和11年度	（5年間）											
交付対象	宝塚市														
計画の目標	宝塚市においては、阪神・淡路大震災により多くの住宅が全壊・半壊等の被害を受けた。 中でも仁川地域においては、震災前は阪急電鉄仁川駅を中心とした利便性の優れた都市型住宅地として発展していたが、震災後の早期復興にあたり、道路等の都市基盤の不足という課題が顕著となった。 当地域の課題改善に向け、「宝塚市震災復興地区（仁川）住宅市街地総合整備事業」の整備計画に基づき、社会資本整備を推進することで、防災の観点から災害に強いまちづくりを目指す。														
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）			4,929	A	4,929	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

計画の成果目標（定量的指標）												
番号	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値										
		当初現況値		中間目標値		最終目標値						
		R7当初										R11末
1	仁川地区において避難所等までの緊急車両の到達時間を約20%短縮することにより、住民へよりよい防災、救急等の公共サービスを提供する。 仁川地区における避難所等の4箇所に対し、緊急車両の到達時間を調査し、平均短縮時間を算定する。 宝塚消防・南部出張所から以下4地点への到達時間①鹿塩会館（予備避難所）、②仁川小学校（指定避難所）、③宝塚第一中学校（指定避難所）、④仁川高丸地区（急傾斜地）	414秒	秒									210秒
備考等		個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中核都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む

令和11年度時点で3.5分を目標とし、R7年度比で到達時間を約50%短縮する。

参考図面



事前評価チェックシート

計画の名称：宝塚市における住環境の改善および都市機能の向上計画（第3期）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性	
⑥円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

